

まだまだ寒い日もありますが、白晝は日ごとに長くなり、夕方が短くなり、夕陽もぼんやりと暮らされるようになっています。

三月は訪れる春の暁とともに、一年の学びの総決算の月ですね。それぞれの歌のステージに向けて準備をしっかりと、残りの日々をよい思い出で締めくくりますように。

【ひがしに日本人はいくらもいる】  
東日本大震災から8年...

「ありがとう」の反対は？



「ありがとう」の反対は「ありがとう」の反対は「あたりまえ」です。「ありがとう」は「有る」が「無い」と書きます。つまり貴重で大切なことに感謝することばです。児童の東日本大震災から3月11日午後2時46分で8年がたとうとしています。被災地では震災や避難が覚えなくなるところが家族にすら会えなくなりました。平凡な日常の有り難さを感じずにはいられませんでした。ここに、悪性腫瘍のため右足を切断し32歳の若さで亡くなった医師 井村和清さんの「あたりまえ」という詩を紹介いたします。

マザー・テレサ：ノーベル平和賞受賞  
自ら修道会を設立し、インドのスラムの人々に献身的な生涯を送った修道女

あたりまえ

井村和清

こんなにすばらしいことを、みんなはなぜよるこばないのでしょうか  
あたりまえであるということ

(中略)  
食事が食べられる 夜になるとちゃんと眠れ、そして又朝がくる  
空気をむねいっばいにする 笑える、泣ける、叫ぶこともできる  
走りまわれる

みんなあたりまえのこと  
こんなすばらしいこと、みんなは決してよるこばない  
そのあたりがたさを知っているのは、それを失くした人たちだけ

毎日食事ができることは、はたして「あたりまえ」のことでしょうか？  
毎日「あたりまえ」のようにあるものが、じつは「有り難い」こと、  
いろいろなるがのおかげであること、心から「ありがとう」と言えることを  
忘れないでください。

1年間を振り返ってみよう！  
食事のあいさつをきちんとしよう！



1年間ありがとうございました！  
人が「生きること」と「食べること」は切っても切れない関係です。健康な毎日を！

※楽しい会合にしよう！※

